

表紙, 目次, 雑報

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38118

大正四年二月一日發行

十全會雜誌

卷十二第
號二第
(號九百第)

全澤醫藥專門學校十全會

十全會雜誌(第二十卷第二號) 目次

○原著及實驗

●網膜剝離 Netzhautablösungノ僥倖ナル
經過ヲ取りタル一例

石橋四郎

○雜報

●講話部例會。

布瀨堅史

○叙任及辭令

●內閣。●宮內省。●金澤醫學專門學校。●石川縣。●陸軍依託生所
屬聯隊。●一年志願兵。

○人事

●訃音。●轉居。

○會告

●校外特別會員會費納付調書。●創立二十五周年紀念館寄附金第六回報
告。



(7) 本例ノ内壓減弱ノ度比較的輕度ニ保持セラレタルノ幸ニシテ且ツ好結果ヲ來セシメ一因ナラン

稿ヲ終ルニ臨ミ金谷衛成病院長ノ熱心ナル監督及校閱ノ勞ヲ取ラレタルト
 秋田赤十字病院眼科部長船石學士ノ多大ノ便宜ヲ與ヘラレタルヲ茲ニ謹テ
 感謝ス
 (大正三年十一月十七日脱稿)

Literatur.

1. 醫學士奈眞敬源一 郎著 解剖簡明卷ノ六
2. 醫學博士小川劍三郎著 近世眼科學第三卷
3. Prof. Dr. Theodor Axenfeld, Lehrbuch der Augenheilkunde. III. Netzhautablösung.
4. Ozernek, Die augenärztlichen Operationen.
5. Klinische Monatsblätter für Augenheilkunde. 1914. LII. Bd. März-April. (Zur Behandlung der Netzhautablösung von Dr. Carl Emmanuel.)
6. Archiv für Augenheilkunde von Knapp, Greeff und Hess LXXII. Band, erstes Heft.
7. 中外醫事新報 第五百二十八號
8. 全 上 第七百六十六號
9. 全 上 第七百八十二號
10. 全 上 第七百八十五號
11. 全 上 第八百二十六號
12. 全 上 第八百二十八號
13. 陸軍軍醫團雜誌 第五十三號

雜 報

●講話部例會 (十二月十二日)

委員 布瀨 堅 史

師走の寒空と北國の雨多き天氣とを遺憾なく發揮せる日なり午後二時會衆百名位にて土肥部長立ちて開會の辭を述べらる。

一、人格の音 二、坂 東 三 範君

泰西の諺に「時は金なり」と、中學の修身教授曰く「時は人なり」と之と同じく人格は人を現はし其の行爲は即ち人格の音也と君の言到れり。

二、夢の藝術 三、石 原 巖君

醫學者の藝術論對照頗る妙、殊に君が天稟の藝術的才能は本校の一異彩也而れば泰西思想の輸入杜絶することも本邦思想の枯渴を來すことなかるべし桑木博士も君と共に意を安じて可也。

三、大なる理想 一、楠 教 惠君

希望はよろしく大なるべしと然り余輩も君の言に賛す戰國の英雄秀吉の言は正に君が理想の實行者たり乞ふ今一度秀吉の傳を讀め。

四、機能對應 四、田 村 惣 七君

演題を原語で Functionelle Anpassung とかへげて先づ聽衆を驚かす而かし内容は學問でなくて例の大噴概論眼れる校友には正に頂門の一針!

五、卒業試驗廢止論 四、曾 我 逸 雄君

本校唯一の政事通(?)今度は學制改革のために大いに氣を吐く論法は項目分けの而かも兵家の魚鱗鶴翼突つ込む穴のなき巧妙なり方最後に卒業試

驗は人体に於ける虫様突起の如しとは比喩頗る適切席に居られし下平先生大喜びでニコニコのもの。

六、歐洲所見

教授 須藤博士

「先生は登壇早々滔々懸河の辯速記子面くらつて書くより先づ聴く方」

余は四十五年三月十三日出發上海、香港、スエズを経てマルセイユに上陸前後四十九日を費やしてベルリンに到着先づ一着手として毎日「シヤロツテンプルヒ」の小學校を視察せり其の設備の完全なるを實物教育制度は正に理想的也大學には傍聴生として入學せず大學生として入學せりそは研究に便なるが爲め也

余の主として聴講せるは醫化學及免疫學なりしも又た課外として物理化學(ネルンスト)生理學(ザルコウスキー、トラウベ、フリードベルゲル、ルブネル)物理(ベルンスタイン)此の他内科、小兒科、病理、解剖等醫化學應用程度を知らんため二ヶ月間の時日を費やせり其の後は主として大學實驗室に入りて研究せりかくする内に休暇となり各國大學を視んため「ドイツ、ホルランド、ベルギー、英國、エステルライヒ等」に旅行を試みたりとて、

旅行中の各國大學及其の所在地の地理風俗文藝美術等くはしく説明せらる時に日既にくれて寒さ俄かに加はる先生の講演は一時間半に渡り聴衆に與へられたる利益少なからず深く先生の勞を謝す

先生降壇後速記子は寒氣のため下肢の痲痺せるを發見したり冬の講堂には「ストーブ」を電燈のほしきものなり」



叙任及辭令

●内閣

大正三年十二月十六日

金澤醫學專門學校教授正七位醫學博士 土肥章司

陸叙高等官五等

金澤醫學專門學校教授從七位 林篤

陸叙高等官六等

●宮内省

大正四年一月十一日

叙正五位 從五位勳五等醫學博士 下平用彩

叙正五位 從五位勳六等 佐々木達

叙正五位 從五位勳五等醫學博士 金子治郎

●金澤醫學專門學校

一月十三日

依願囑託ヲ解ク 眼科學副手囑託 源明藤吉

一月十九日

金澤醫學專門學校醫學士 栗山光太郎

眼科學副手ヲ囑託ス 月手當金貳圓給與

●石川縣

大正三年十二月二十一日

七級俸給與

八級俸給與

九級俸給與

九級俸給與

十級俸給與

十級俸給與

十級俸給與

十一級俸給與

十二級俸給與

月俸十七圓給與

大正三年十二月二十四日

金澤病院醫員ヲ命ズ

十二級俸給與 婦人科勤務ヲ命ズ

大正四年一月十三日

願ニ依リ職務ヲ免ズ

願ニ依リ職務ヲ免ズ

大正四年一月十八日

願ニ依リ職務ヲ免ズ

醫員

梶川 靜夫 (四)

石川 精一 (四)

近藤 清吾 (四)

山崎 重治 (四)

那谷 與一 (四)

伊藤 又吉 (四)

小原 準三 (四)

同 奧山 義盛 (四)

同 中山 靜二 (四)

同 中林 清右衛門 (大二)

同 福田 壽

技術員 織田 他家男 (大三)

眼科醫員 源明 藤吉

外科一部醫員 今村 鉄夫

●陸軍依託生所屬聯隊

名古屋歩兵第六聯隊見習醫官

大阪歩兵第八聯隊見習醫官

伏見歩兵第三十八聯隊見習醫官

東京近衛歩兵第三聯隊見習醫官

太田 外茂次 (大三)

下間 伸一 (大二)

野村 義章 (大三)

柴田 一男 (大三)

大阪歩兵第八聯隊見習藥劑官

下根 信近 (大二)

●一年志願兵

近衛歩兵第一聯隊第九中隊

同 宇都宮歩兵第六十六聯隊附

伏見歩兵第三十八聯隊第八中隊

橘 虎次郎 (大二)

大瀧 經 (大二)

布施 宗一 (大二)

松田 菊雄 (大三)

人事

●訃音

●笠松彦次郎氏(四二) 陸軍二等軍醫在職中任地臺灣卑南に於て大正三年十月二十九日病没せられたり茲に謹て哀悼の意を表す。

●轉居

富山縣西礪波郡戸出町

愛知縣幡豆郡吉田村大字吉田

朝鮮駐劄羅南驛兵第九聯隊附

大湊要港部附

朝鮮平安北道雲山郡北鎮

大阪市西區本田町三丁目鎌尾眼科院

吉江 糸太郎 (四)

山口 辰五郎 (元)

高桑 勇次郎 (元)

小野 醇吉 (四)

守部 廉次郎 (四)

鎌尾 萬明 (四)

臺灣總督府打狗醫院內

渡邊 四郎 (四)

一金壹圓也 大正三年度分

安 積 昇殿

Dr. R. Usato, P. O. Box 85, Waimea, Kauai, Hawaii.

上里 良溫 (四)

一金壹圓也 全

北川 健 三殿

石川縣鹿島郡七尾町字龜山町二一七尾診療院

蒲田外之助 (四)

一金壹圓也 全

河口 賀 眞殿

橫須賀海軍砲術學校海軍中軍醫

萩原 忠 (四)

一金壹圓也 全

林 眞 吉殿

岐阜縣本巢郡外山村字神海

高橋 壽朔 (四)

一金壹圓也 全

宮城 篤 珍殿

新潟縣北魚沼郡小千谷橫町

佐藤 彌一郎 (大元)

一金貳圓也 自大正二年度分

牧 眞 一殿

福岡市庄二九〇、石川成章方

岡 本 晃 (大二)

一金壹圓也 大正三年度分

淺野 連 也殿

福井縣武生町武生病院

齊藤 喜之吉 (大三)

一金壹圓也 全

松 田 隆殿

東京市神田區和泉町一、三井慈善病院內科研究生

前田 爲吉 (大三)

一金壹圓也 全

水上 佐太 郎殿

兵庫縣神戸市縣立神戶院內

木村 豐三郎 (大三)

一金壹圓也 全

山下 銀 吉殿

會 告

●自大正三年十二月十四日校外特別會員會費納付調查
至大正四年一月二十五日

金 額	期 限	氏 名	金 額	期 限	氏 名
一金壹圓也	大正三年度分	大野 幸 重殿	一金壹圓也	全	笹田 順 二殿
一金壹圓也	全	堀 孝 信殿	一金壹圓也	全	村尾 純 昌殿
一金壹圓也	全	高柳 元六 耶殿	一金壹圓也	全	佐々木 茂 樹殿
一金壹圓也	全	平澤 謙 齊殿	一金壹圓也	全	松王 數 男殿
一金壹圓也	全	小島 顯 治殿	一金壹圓也	全	大西 瀨 治殿
一金壹圓也	全	甘利 昇殿	一金壹圓也	全	大屋 保 治殿
					吉田 誠 一殿

一金參圓也	村田金太郎殿	一金六圓也	佐崎伊久殿
一金五圓也	佐口榮殿	一金參圓也	若林定次郎殿
一金壹圓也	加藤信智殿	一金壹圓也	大島時殿
一金五圓也	三木榮末殿	一金五圓也	梶川靜夫殿
一金五圓也	那谷與一殿	一金五圓也	富田豐咲殿
一金五圓也	奥山義盛殿	一金五圓也	小池才一殿
一金五圓也	石川寬二殿	一金貳圓也	押野芳孝殿
一金五圓也	川原武夫殿	一金貳圓也	北川勝末殿
一金五圓也	芥川信殿	一金參圓也	柴野順吾殿
一金貳圓也	高橋直作殿	一金壹圓也	河原芳長殿
一金五圓也	石黒四郎殿	一金參圓也	野澤彖吉殿
一金五圓也	山本兵三郎殿	一金壹圓也	川島俊殿
一金參圓也	加藤誠四郎殿	一金貳圓也	安達友直殿
一金貳圓也	吉野巖殿	一金貳圓也	若林善太郎殿
一金貳圓也	安藤信次殿	一金參圓也	岩佐兵藏殿
一金五圓也	崎達郎殿	一金五圓也	山口茂太郎殿
一金五圓也	吉田義一殿	一金參圓也	吉田賈殿
一金五圓也	富澤圭太郎殿	一金參圓也	長田八三郎殿
一金參圓也	蒲田外之助殿	一金五圓也	柴山金雄殿
一金參圓也	松崎清博殿	一金五圓也	村本笹次郎殿
一金參圓也	堂坂友作殿	一金五圓也	○澤田定信殿
一金五圓也	千葉玄也殿	一金參圓也	小木秀時殿

一金參圓也	原田悅五郎殿	一金參圓也	澤田辰造殿
一金五圓也	小倉加一郎殿	一金五圓也	岡島敬治殿
一金參圓也	木村豐三郎殿	一金五圓也	大橋忠俊殿
一金六圓也	林龍門殿	一金五圓也	田口泰殿
一金五圓也	萱塲七之助殿	一金參圓也	清水亮殿
一金參圓也	○豐田今吉郎殿	一金五圓也	○原貞次殿
一金五圓也	○大澤五月殿	一金參圓也	○山崎重治殿
一金五圓也	○松田研吉殿	一金拾圓也	○古丸藤三郎殿
一金參圓也	○三股梅吉殿	一金參圓也	川崎盛道殿
一金參圓也	○大藪關重殿		

計金九百四拾九圓也
 累計金二千四百八拾貳圓五拾錢也

▲第五回申込報告後現金領收ノ分

以上 小野醇吉殿